



学びの高嶺

校訓 感謝・努力・友愛

北九州市立高見中学校
学校だより 第8号
令和6年7月16日(火)
校長 若松 英昭

北九州視覚特別支援学校との交流

*Let's enjoy
new challenges!*

～準備、実行、そして次へ～

7月10日水曜日の5・6時間に、1年生が北九州

視覚特別支援学校を訪問しました。今回、中学部の4名の皆さんと先生方と交流する時間になりました。

今回の訪問では「視覚特別支援学校について知ろう」をめあてに、「日常生活用具・学習用具」、「アイマスク体験」、「点字について」、「スポーツ」の4つのブースを順に回って体験させていただきました。

「日常生活用具・学習用具」では、私たちの身近にある点字表示されたものの説明を聞き、工夫されていることを知りました。例えば、ジュースなどの缶とお酒などの缶を区別するために、お酒の缶には、点字で「さけ」と書かれています。学習用具では、普段私たちが使っている教科書とは違った「拡大教科書」「点字教科書」なども見せていただきました。

「アイマスク体験」では、実際にアイマスクを着け、ガイドと廊下を歩いてみました。ガイドが目の不自由な人の斜め半歩前を歩くことや、出発するとき、止まるとき、曲がるとき、階段をのぼるときなどは、必ず次に何をするのか言葉で伝えること「声かけ」が大切であることを教えていただきました。

「点字について」では、実際に自分の名前を点字で書いてみました。また、弱視の方の見え方などについても教えていただきました。

「スポーツ」では、STT(サウンドテーブルテニス)を体験しました。STTとは、音の鳴るピンポン球を、アイマスクをした状態で打ち合い、点数を競うスポーツです。

一般的な卓球と異なりネットの下を転がします。球が卓球台から落ちないようにエンドフレームとサイドフレーム(高さ1.5cm、厚さ1cm)を取り付けられています。審判の「プレー」という声から10秒以内に、サーバーは「いきます」と声を出し、レシーバーが5秒以内に「はい」と言う前から、5秒以内に試合開始。金属が入った音の鳴るピンポン球を、ラバーの貼っていない木製ラケットで、相手コ



私たちの身近な物にも工夫がたくさんありました。



2人の生徒さんから詳しく教えてもらいました。



アイマスク体験



点字に挑戦!

ートに打ち返します。打った球が、相手のラケットに触れる前にエンドフレームに当たれば得点。ただし、フレームに当たっても、球が台から落ちたり、打った球がネットに触れて、相手コートに達しなかった場合、相手の得点になります。1 ゲーム 11 点で、5 ゲームマッチ。3 ゲーム先取したプレイヤーが勝ちです。



STT 集中力がとても必要!

【今日の交流で学んだこと】 1年1組 K

私は点字ブロックしかくわしく知らなかったけど、今日の交流の体験で私たちが知っているスポーツだったり、私たちが身近に使っている物にユニバーサルデザインで工夫されていたりなど、物はいろんな人に使いやすいように工夫されていてびっくりしました。特に STT がびっくりしました。普通の卓球だと見てできるけど、STT は音で反応してプレイするからすごく難しかったです。

【今日の交流で学んだこと】 1年2組 S

初めは視覚があまりなくてきつくないのかと疑問に思っていました。聴覚・感覚を使った工夫がたくさんあることを知りました。STT など楽しく過ごすための工夫があり、みんなと同じ土台でゲームができることのよさを実感しました。白杖体験では人に支えてもらっているけど、ものすごく不安感におそわれ、白杖で歩いている人への見る角度が変わりました。今回の交流で「知る」ことの大切さを学びました。

高見中生 躍動!!

6月から中体連八幡東区夏季大会が各部実施されました。
また、その他にも様々な大会で高見中生が活躍しています。

○野球部 優勝

1回戦 7-0 枝光台中(5回コールド) 決勝 2-0 花尾中

○サッカー部 優勝

1回戦 12-0 九州国際大学附属中 決勝 2-1 槻田中

○卓球部 団体 優勝

個人 準優勝 E 第3位 H 第5位 Y

○ソフトテニス 男子 団体 第2位 女子 団体 第3位

○バレーボール 第3位

決勝トーナメント 1回戦 槻田中 2回戦 大蔵中

○その他

ジュニアオリンピック県大会 バドミントン ベスト8 T



ソフトテニス部



サッカー部

市内大会の結果は次号でお知らせいたします